

JBC 東京試合役員会会議(ZOOM 使用によるリモート会議) 【議事録】

～全国拡大開催～

2022 年 3 月 12 日 (土)

東京 19 : 30～19 : 45

全国 19 : 45～21 : 06

(以下、氏名は五十音順、敬称略)

- ・主催：中村 (東京試合役員会・会長)
- ・議長：飯田 (東京試合役員会・副会長)
- ・書記(ZOOM ホスト)：須藤 (東京試合役員会・会計)
- ・出席者

JBC 事務局 (本部) 富樫、松原、(関西) 坂本、田中敬

(東京試合役員会) 岩本、小野、葛城、斉藤、篠崎、杉山、高橋、田畑、田中、野中、蜂須賀、マーチン、福地、松坂、吉田 (15 名)

(中部試合役員会) 井上、加藤、高橋、村瀬 (4 名)

(関西試合役員会) 池原、今村、植村、田中新、田中優、隣井、西川、半田、政野、室矢 (10 名)

(西部試合役員会) 荒巻、大谷、大藤、恵良、謝敷、棚町、當山、野田、姫野、古田、福本 (11 名)

◆19 : 30 東京役員のみ開会 (19 : 00 から待機室入場開始、19 : 25 開場～ホスト確認により、順次入場作業)

- ・会議概要説明 (Zoom ホスト：須藤より)
- ・2021 年度「会計報告」～会計資料の画面共有による (会計：須藤)
- ・2021 年度「会計監査報告」～監査書の画面共有による (会計監査：葛城)

◆19 : 45 全国役員に拡大開催

- ・議事開始宣言 (飯田副会長＝議長)
- ・開会挨拶 (中村会長)
今期からの会長新任挨拶も含む。

◇試合検証～事前配布画像の視聴による (飯田)

※画像共有 (PowerPoint にて)

事前に配信共有していた動画の検証結果の確認。

各自からの意見を集約、協議。以下について共有事項とした。

- ・スリップダウンかダウンかの判断。レフェリーに決定権はある中でも、スーパーバイザー、ジャッジへの確認も行うべきである。
- ・反側打、攻撃の無い沈着したラウンド等（特に C 級 4 回戦）は、レフェリーは指導の意味でも注意は必須。
- ・ロープダウン発生時のレフェリーの対応として、ダウン後の加撃が発生しやすいので、攻撃している選手をいかに制止すべきかを念頭に置きたい。立ち位置によってはダウン宣告の発声も重要。
- ・以上に関して、タイムキーパー、リングアナウンサーへの連携も重要。観客に分かりやすくする意図も意識。ジェスチャー、宣告、発声、明確に分かりやすくすること。
- ・ダウン（1 回）があったラウンドの採点はルールに則ると（10 - 8）が基本だが、展開によっては（10 - 9）もある事例を検証。ダウンの質による加減は発生しない（フラッシュダウンを 10 - 9 にすることはない）。ダウン以外の攻防を評価することでの加減（ダウン側の加点による 10 - 9）はある。

◆20：55 その他、共有事項等

- ・上記の検証結果を確認した。試合管理上の事務局内の対応の参考資料として活用する。
（事務局：松原）
- ・次回の新型コロナウイルス拡散防止協議会は 3 月 15 日の予定（事務局：富樫）
- ・試合役員の情報共有のツールとして LINE アプリの活用を提案、承認。（須藤）→（3 月 14 までに全国の試合役員に拡大した LINE グループを作成、既に実施済）

◆21：05 閉会挨拶（中村）

（21：06 終了）

以上

（次回会議の予定は別途連絡）